

1. ガイダンス：開店に当たって

(1) 店長ご挨拶

(2) 所長カフェの目指すところ

- ① もう一步進んだ学習のサポート
- ② 卒業研究へのチャレンジ
- ③ 小冊子（研究ノート、調査報告等）の作成（202802）

(3) 進め方

○ 202602：研究のスタート「研究テーマを決める」

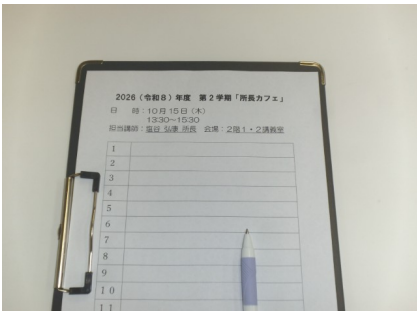
- 10 月 15 日（木） ガイダンスと交流（興味・関心、悩みを語り合う）
- 11 月 19 日（木） 研究って何だろう
- 12 月 17 日（木） 研究テーマを立てる
- 1 月 21 日（木） 研究構想の発表と相互講評

※ 0121 は単位認定試験期間中のため、変更の可能性あり

○ 202701：卒業研究作成に向けて「研究を形にする」

- 4 月 調べる
- 5 月 組み立てる
- 6 月 書く
- 7 月 まとめる

2. 交流：



2026.10.15

佐藤 実

所長カフェ

放送大学で何を学ぶか

私は全科履修生として「人間と文化」、「心理と教育」、「自然と環境」、「社会と産業」まで一応4コース卒業しましたので、「生活と福祉」コースに進むことができました。

具体的な科目名は「循環器の健康科学」「健康への力の探求」「レジリエンスの科学」「貧困の諸相」「教育の社会学」「原典で読む日本の思想」です。なお、最後の2科目は前回不合格であったために学び続けるものです。

家業が農業のため今、米の収穫時期で多忙を極めており、中々本当に大変な状況です。しかしその分やりがいというのもあり、学ぶことと農作業の両立を果たすべく必死に頑張っています。今月下旬が大きな山場となっております。

放送大学とは全く関係がないものなのですが、私は田畑で形状の良い「石」を見つけた時はそれを拾い集めるということを趣味としています。古代人達はどのようにして、この石を加工したのだろうか？

私にとっては、その石の形の見事な美しさに「感動!!」すら覚えてしまうのです。古代人が、例えば米づくりを始めたとされる「弥生時代」辺りに既に鉄器があって石の加工も可能だったのだろうか。

数年前になるが、旧統一教会の信者だった母が1億円も献金、息子の山上徹也被告が安倍首相を暗殺、という事件が起きた。その山上被告が口にしたことは自分を「石ころ」のような人間だと、自分を「つまらない人」としてこれを「石ころ」と表現した。

私はその「石ころ」・・を集めて「悦」に浸っている。但し特に形の良いものだけだが。そして古代の人々が、見事なまでに石を加工した訳だがその「方法」としてはいかなる方法なのか。私にとっては永遠の課題だ。

あまり先を急がず、じっくりとこの課題に向き合っていきたいと思っている。